

第12回那覇市議会報告会 及び市民との意見交換会

開催日時・地区・会場

日	時	担当班	地区・会場
5月22日 (水)	19時～ 20時30分	1班	本庁 くもじ・にじいろ館
		2班	小祿 鏡水ふれあい会館
5月23日 (木)	19時～ 20時30分	3班	真和志 沖縄大学 本館1階
		4班	首里 首里支所 会議室
	19時30分 ～21時	5班	本庁 曙小学校 地域連携室

主催 那覇市議会

議長あいさつ

「第12回那覇市議会報告会及び市民との意見交換会」の開催に当たり、那覇市議会を代表し一言ごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、日頃より、本市議会に対しご理解とご協力いただき、また、本日はお忙しい中お越しいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、議会報告会及び市民との意見交換会は、議会で審議された予算、条例をはじめとする那覇市としての重要な意思の決定について、市民のみなさまへ報告するとともに、市政全般に関する課題について意見交換を行うものです。

平成25年4月の第1回開催から、第11回まで、述べ1,106人の市民のみなさまにご参加いただき、多様なご意見、ご要望等を賜りました。このうち、特に重要なものについては、市長へ報告し、実際の事業などへ反映させております。また、そのほかのご意見、ご要望等についても、各常任委員会において、所管事務調査を実施するなど、課題解決に向け活動しております。

この度の第12回議会報告会及び市民との意見交換会は、できるだけ多くの市民のみなさまにご参加いただけるよう、会場を1か所増やし、5会場において開催することになりました。

結びに、那覇市議会では、議会改革の一環として「市民に開かれた議会づくり」を進めており、市民のみなさまのご意見、ご要望等を拝聴させていただくことが、もっとも重要なことだと考えております。本日の市民のみなさまと意見交換が、議会改革に向けた実り多きものとなることを大いに期待申し上げ、開催に当たってのごあいさつといたします。

令和元（2019）年5月22日

那覇市議会議長

翁長俊英

第12回 那覇市議会報告会プログラム

第1部「議会報告会」

- 1 開会あいさつ（2分）
- 2 2019年度当初予算審査の報告（4分） 資料ページ番号
「那覇市2019年度（令和元年）当初予算の概要」 P3
- 3 委員会審査結果報告（16分）
 - (1) 総務常任委員会
「消防力強化について」 P8
 - (2) 建設常任委員会
「第2次那覇市環境基本計画中間見直し」 P14
 - (3) 教育福祉常任委員会
「こども医療費助成事業について」 P18
 - (4) 厚生経済常任委員会
「産婦検診の取り組みについて」 P22

第2部「意見交換会」

- 4 意見交換（66分）
- 5 閉会のあいさつ（2分）

第12回 議会報告会 班名簿

1班

班長	議員名	所属委員会	所属会派
	喜舎場 盛 三	総 務	公 明 党
	宮 里 昇	総 務	日本共産党
	坂 井 浩 二	建 設	なはのみらい
	仲 松 寛	建 設	なは立志会
	多和田 栄 子	教育福祉	ニ ラ イ
○	當 間 安 則	教育福祉	維新・無所属の会
	奥 間 亮	厚生経済	自 民 党
	下 地 敏 男	厚生経済	ニ ラ イ

2班

班長	議員名	所属委員会	所属会派
	中 村 圭 介	総 務	無所属の会
	翁 長 雄 治	総 務	ニ ラ イ
	上 原 快 佐	建 設	ニ ラ イ
	古 堅 茂 治	建 設	日本共産党
	桑 江 豊	教育福祉	公 明 党
	奥 間 綾 乃	教育福祉	なは立志会
	大 山 孝 夫	厚生経済	自 民 党
○	大 城 幼 子	厚生経済	公 明 党

3班

班長	議員名	所属委員会	所属会派
	我如古 一 郎	総 務	日本共産党
	新 崎 進 也	総 務	維新・無所属の会
	金 城 眞 徳	建 設	ニ ラ イ
	糸 数 昌 洋	建 設	公 明 党
	栗 國 彰	教育福祉	自 民 党
○	上 原 仙 子	教育福祉	なはのみらい
	小波津 潮	厚生経済	なは立志会
	前 田 千 尋	厚生経済	日本共産党

4班

班長	議員名	所属委員会	所属会派
○	大 浜 安 史	総 務	公 明 党
	新 垣 淑 豊	総 務	自 民 党
	前 泊 美 紀	建 設	無所属の会
	久 高 友 弘	建 設	自 民 党
	永 山 盛 太郎	教育福祉	ニ ラ イ
	西中間 久 枝	教育福祉	日本共産党
	上 里 直 司	厚生経済	なは立志会
	野 原 嘉 孝	厚生経済	公 明 党

5班

班長	議員名	所属委員会	所属会派
	翁 長 俊 英	無 所 属	無所属(議長)
	清 水 磨 男	総 務	ニ ラ イ
	大 嶺 亮 二	総 務	自 民 党
	吉 嶺 努	建 設	自 民 党
○	宮 平 のり子	建 設	ニ ラ イ
	湧 川 朝 涉	教育福祉	日本共産党
	上 原 安 夫	厚生経済	日本共産党
	平 良 識 子	厚生経済	ニ ラ イ

那覇市2019年度 (令和元年) 当初予算の概要

2019年度 予算総括表（企業会計含む）				
単位：千円				
会計別	2019年度 当初予算	2018年度 当初予算	増 減 額	2019年度対 前年増減率(%)
① 一般会計	① 146,814,000	147,571,000	△ 757,000	△ 0.01
② 特別会計				
土地区画整理事業特別会計	17,661	22,648	△ 4,987	△ 0.28
国民健康保険事業特別会計	39,043,660	38,397,202	646,458	0.02
市街地再開発事業特別会計	1,499,992	1,404,536	95,456	0.06
介護保険事業特別会計	27,168,227	26,213,637	954,590	0.04
後期高齢者医療特別会計	3,397,091	3,379,230	17,861	0.01
病院事業債管理特別会計	349,001	386,352	△ 37,351	△ 0.11
母子父子寡婦福祉資金貸付上特別会計	178,293	127,865	50,428	0.28
小 計	② 71,653,925	69,931,470	1,722,455	0.02
合 計（一般会計・特別会計）	218,467,925	217,502,470	965,455	0.00
③ 企業会計				
水道事業	7,691,483	8,096,998	△ 405,515	△ 0.05
下水道事業	6,008,765	6,302,034	△ 293,269	△ 0.05
小 計	③ 13,700,248	14,399,032	△ 698,784	△ 0.05
総 合 計（①+②+③）	232,168,173	231,901,502	266,671	0.00

那覇市の2019年度予算

一般会計	1468億1400万円
特別会計	716億5392万5千円
企業会計	137億 24万8千円
合 計	2321億6817万3千円

前年度より2億6667万1千円（0.1%）増！

一般会計予算推移



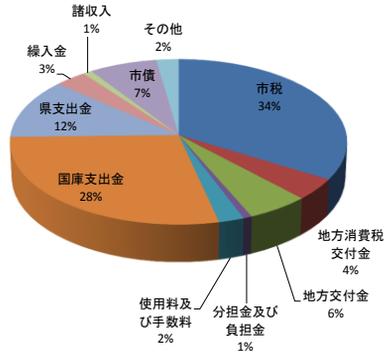
前年度に比べ7億5700万円(0.5%)減！

2019年度一般会計歳入予算の内訳

前年度比較

(単位：千円)

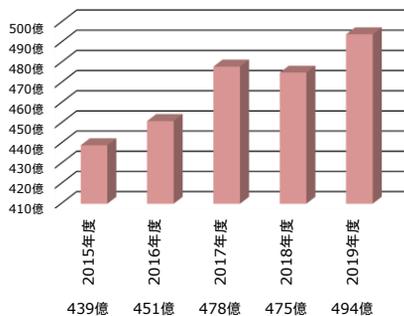
	2019年度 歳入予算	2018年度 歳入予算	増 減
市税	49,413,015	47,538,326	1,874,689
地方消費税交付金	6,220,226	5,938,437	281,789
地方交付金	8,109,316	8,362,724	-253,408
分担金及び負担金	1,128,667	1,583,831	-455,164
使用料及び手数料	3,315,401	3,301,569	13,832
国庫支出金	41,386,256	41,687,491	-301,235
県支出金	17,237,960	19,650,820	-2,412,860
繰入金	4,837,876	4,316,935	520,941
諸収入	1,397,249	1,298,222	99,027
市債	10,357,100	11,176,900	-819,800
その他	3,410,934	2,715,745	695,189
計	146,814,000	147,571,000	-757,000



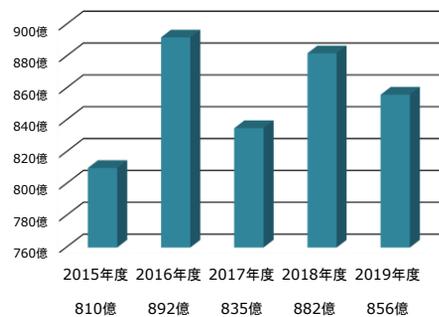
一般会計歳入予算の推移

自主財源・依存財源の構成比

自主財源推移



依存財源推移

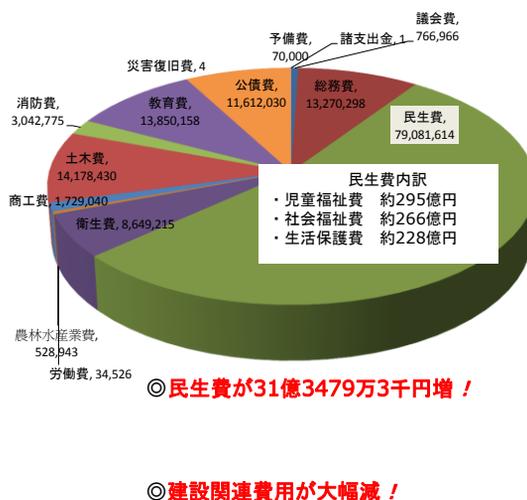


2019年度自主財源（市税収入）は約19億円増、依存財源は約27億円減！

2019年度一般会計歳出予算内訳

前年度比較 (単位：千円)

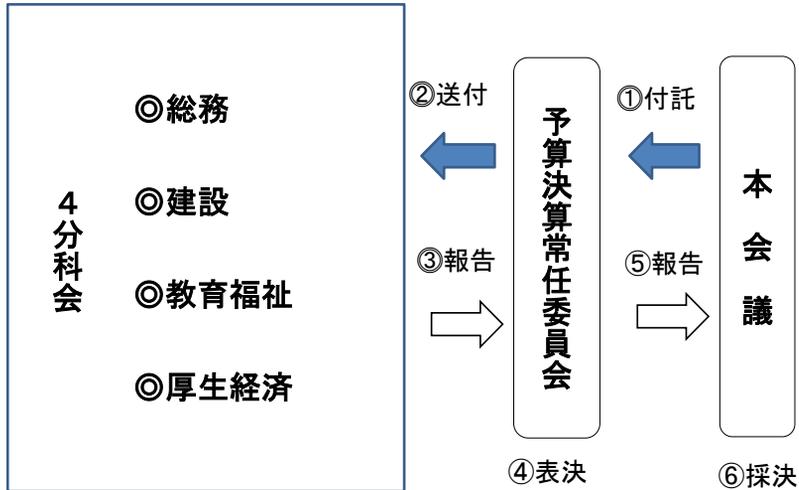
	2019年歳出予算	2018年歳出予算	増 減
議会費	766,966	778,205	-11,239
総務費	13,270,298	11,529,360	1,740,938
民生費	79,081,614	75,946,821	3,134,793
衛生費	8,649,215	8,859,504	-210,289
労働費	34,526	34,561	-35
農林水産業費	528,943	238,127	290,816
商工費	1,729,040	1,844,573	-115,533
土木費	14,178,430	16,123,792	-1,945,362
消防費	3,042,775	2,795,316	247,459
教育費	13,850,158	17,071,903	-3,221,745
災害復旧費	4	4	0
公債費	11,612,030	12,278,833	-666,803
諸支出金	1	1	0
予備費	70,000	70,000	0
計	146,814,000	147,571,000	-757,000



2019年度主な事業

- ◎待機児童対策・給付型奨学金制度等は継続。
- ◎新文化芸術発信拠点施設、農連市場地区市営住宅整備、第一牧志公設市場再整備等の事業推進。
- ◎フッ化物洗口等モデル事業・産婦健康診査事業などを新たに実施し、大腸がん検診無化・2歳児歯科健康診査事業を再開。

議会での予算審議



以上、2019年度（令和元年）予算のご報告とさせていただきます。

市民生活のさらなる向上のため、今後とも議会としてしっかりチェック機能を果たしてまいります。

ご清聴ありがとうございました。



那覇市議会議会報告会 総務委員会 ～消防力強化について～



高度救命処置シミュレーター整備事業に一括 交付金申請に対し交付決定に至らず減額



しかし、市民の安全安心、そして観光客も増えている中、救急出動も増えています。

一括交付金の交付がなされなくても、市民の安全安心に必要なならば、議会からもどんどんと要請を上げています。

救急車は現在、適正な台数なのか？

国が定める消防力の整備指針

本市に必要な救急車は10台

現状は 7台



現状や今後の目指す姿について
議会・委員会において常に
確認をしていく



消防隊員の数は足りているか？

本市の職員定数条例に定める人数

346人

2018年4月1日現在 職員数 278人

充足率 80.3%

消防団を増やす取り組みについて

2017年11月20日 八重山日報ウェブページより



過去女子高生も入団したという記事がありました。

消防団を増やす取り組みについて

平成31年3月4日現在

消防団定数**120名中**

総員 101 名

(うち女性 14 名)

消防団を増やす取り組みについて

入団資格

1. 本市に居住し、勤務し、又は在学する者であること。
2. 18歳以上の者であること。
3. 志操堅固で、かつ、身体強健な者であること。



事業所の皆さんにお願いします。

現在、消防団員のほとんどが事業所等に勤めている団員(サラリーマン団員)です。サラリーマン団員が仕事中に災害出動を行う、または、職場を休んで消防団活動に参加することは大変なことです。日頃自分の仕事を持ちながらも地域防災のため、日夜努力しております。積極的に消防団活動に参加できるようご支援、ご協力をお願いいたします。また、各事業所から新規に消防団入団者が実現したのならば、各事業所の防災力の向上、那覇市の防災力の底上げとなりますので併せてご協力をお願いいたします。



[わたしじつは 消防団員 \(PDF:17.052KB\)](#) (紹介用リーフレット)



消防団を増やす取り組みについて

しかし、ホームページでは
申込みにどのようなものが必要なの
か？

どこで申し込めるのか？

通年申し込めるのか？

などがわかりづらい・・・

高機能消防指令システム整備事業



高機能消防指令システム整備事業



平成31年4月5日
お披露目式

銘苅の那覇市消防局にて



高機能消防指令システム整備事業

- 市内各所の消防署に設置のカメラ、高所設置のカメラで市内の様子を確認できる
- 消防車の、ドローンなど現場の映像が指令センターに送られ、センターが現場の状況を把握することでスムーズなサポート
- また、新たに導入された「NET119」というシステムでは、聴覚障害や言語障害を持つ人からチャットなどでの通報も可能になった。

第2次那覇市環境基本計画 中間見直し



「国場川水あしび」での観察会

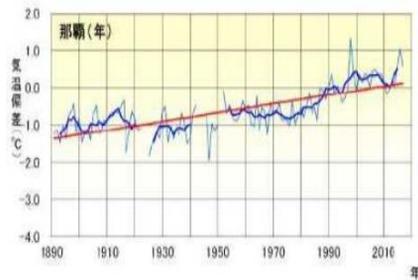
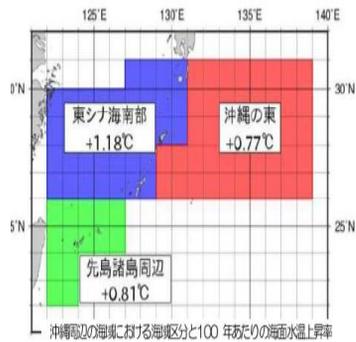


ハイブリッドタイプのごみ収集車と充電器

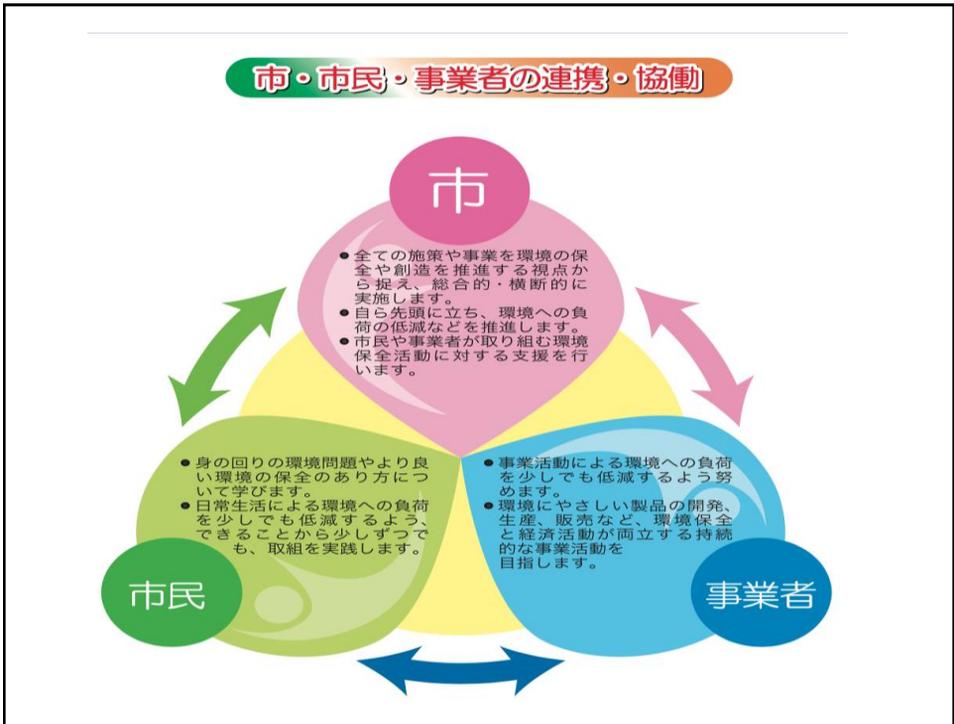
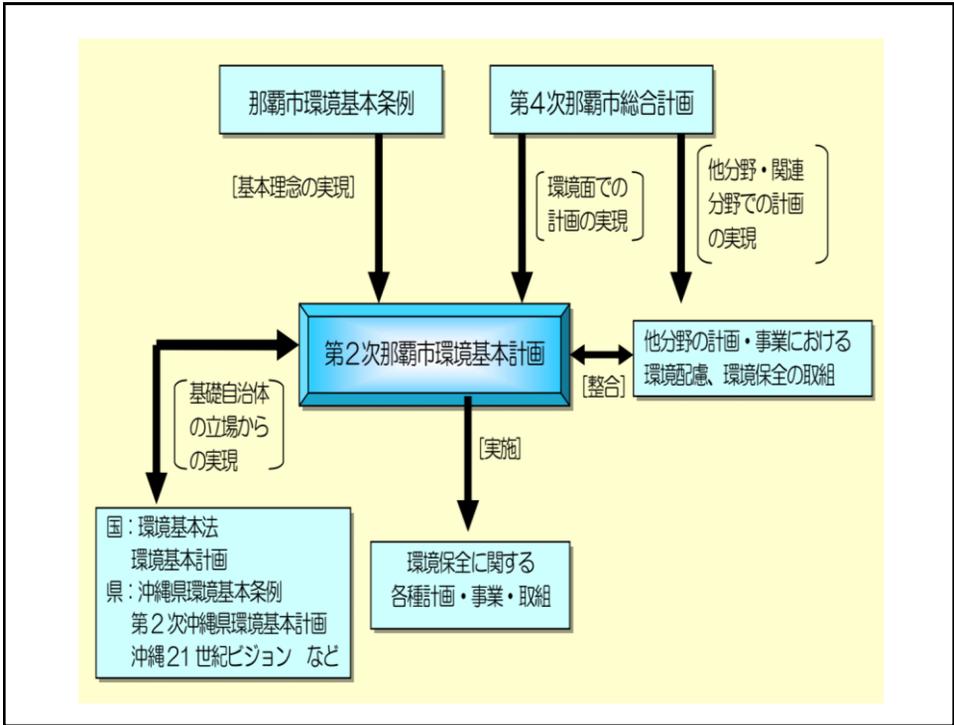
建設常任委員会



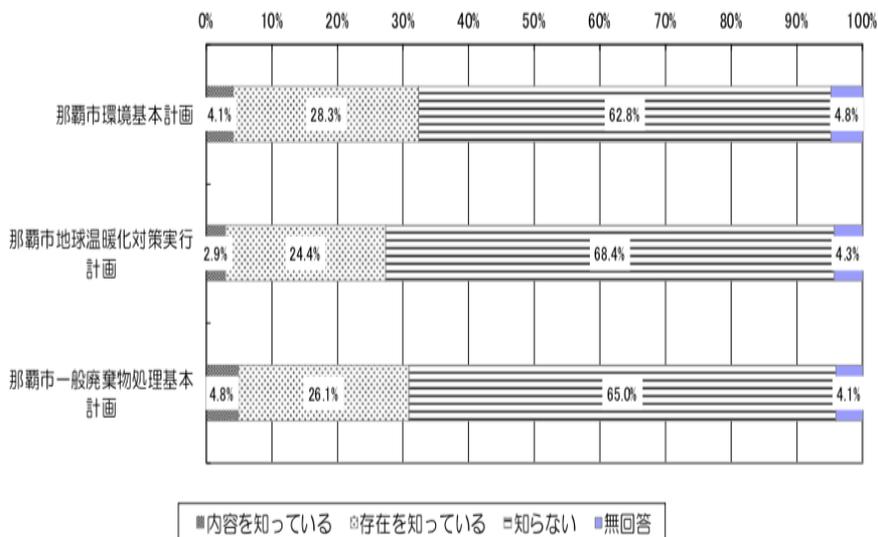
沖縄県初のラムサール登録湿地である漫湖



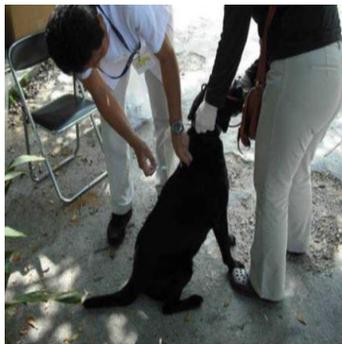
那覇の年平均気温偏差の経年変化



代表的な環境関連計画の認知度（市民）



～111



狂犬病の集合注射



指標	現状	中間目標 (2018年度)	目標 (2023年度)
犬猫の収容数	263頭 (2017年度)	260頭	240頭
狂犬病予防注射接種率	56.5% (2017年度)	55.7%	58.0%

■取組の目標

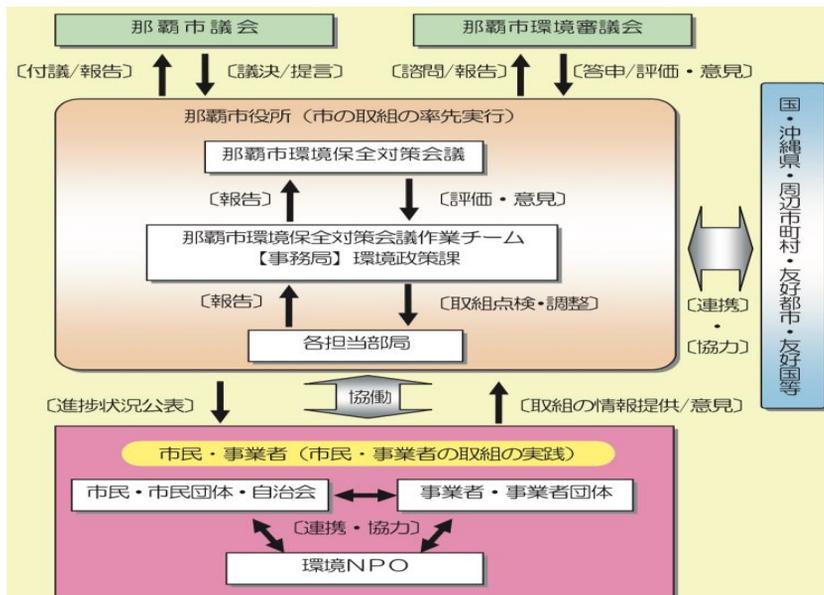
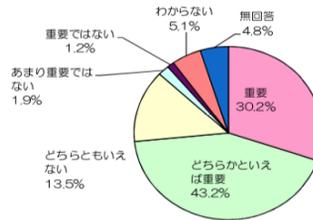
指標	現状	中間目標 (2018年度)	目標 (2023年度)
大気環境基準（二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質）の達成率（地点数（2））	100% (2017年度)	100%	100%
空気のきれいさに対する市民満足度 (市民アンケート結果)	47.6% (2018年度)	60%	75%

■取組の目標

指標	現状	中間目標 (2018年度)	目標 (2023年度)
環境保全活動団体等の市公式ホームページへの登録数	5件 (2017年度)	5件	10件



環境に配慮した企業活動や市民活動などへの支援の重要性の認識（市民）



ご清聴ありがとうございました



こども医療費助成制度の変遷

時期	制度改正の内容等	通院	入院
H21. 4	助成対象年齢の拡大 (入院対象年齢を中学卒業まで)	3歳児 まで	中学 卒業 まで
H26. 1	自動償還方式導入 (医療機関受診時に受給者証を提示することで申請が可能となり 便利になった。) ※申請件数が増加した。		
H27. 10	助成対象年齢の拡大 (通院対象年齢を就学前まで)	就学前 まで	
H28. 10	貸付制度導入 (こども医療費の助成金の申請はいったん医療機関窓口での支払いが 必要だが、経済的な理由等でその医療費の支払いが困難な場合に、申 請により資金を貸付し、助成金で償還する制度)		
	現物給付方式導入 (窓口無料化) (医療機関窓口にて、現物給付の受給者証を提示する事により、原則 医療費を支払うことなく医療サービスを受けることが出来るようにな る制度)		
H30. 10			

平成30年10月の改正内容は？

- ①未就学児の医療費助成が**自動償還方式**から**現物給付方式**に
- ②3歳以上の通院医療費の一部自己負担金（1医療機関につき1000円/月）を廃止

対象児童		改正前	改正後
小学校入学前まで (未就学児)	通院	自動償還方式	現物給付方式
		3歳児以上1医療機関につき 1000円/月の自己負担金	自己負担金なし
	入院	自動償還方式	現物給付方式
小学校入学から 中学卒業まで	通院	対象外	対象外
	入院	自動償還方式	自動償還方式

※県内の協力医療機関のみで対応。

※ 自動償還方式

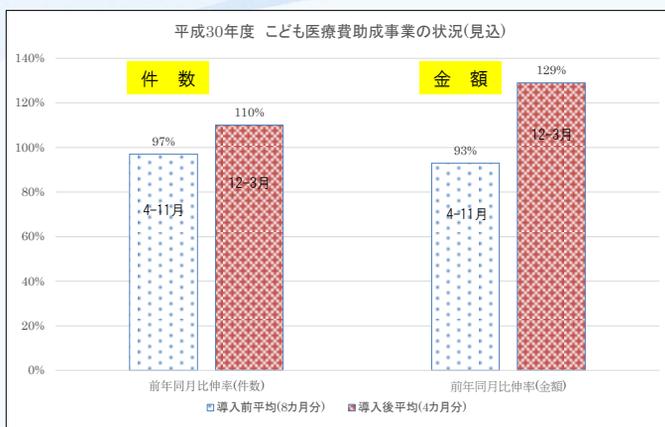
医療機関窓口で自己負担分の支払い後、後日助成金として保護者口座へ振り込む方法。

※ 現物給付方式

医療機関窓口での自己負担分の支払いなく、受診が可能。
医療機関から集計機関経由で市に医療費の請求がいく方法。



現物給付方式を導入して（対前年比をみる）



☆子ども医療費助成事業・助成額の推移
 H29年度：約4億8,200万円 → H30年度：約5億110万円
 (年間 **約1.04倍**の金額伸び率)

子ども医療費無償化の拡充に向けて

『通院費の無償化を中学生まで！』

市民の期待

議会の要望

行政の取組

※市単独（県補助なし）で拡充した場合の試算

（平成30年12月議会時点）

概算	医療費補助総額	県補助	市負担	市負担増
H29年度実績	4億8000万円	2億4000万円	2億4000万円	※H29年度比較
H31年度見込（現行）	6億7000万円	3億3500万円	3億3500万円	9500万円
↓	↓	↓	↓	↓
小学校卒業まで拡充	10億3100万円	3億3500万円	6億9600万円	4億5600万円
中学校卒業まで拡充	11億2900万円	3億3500万円	7億9400万円	5億5400万円

こども医療費助成事業周知の
ご協力をお願いいたします。



ご清聴ありがとうございました。



産婦健診の 取り組みについて

厚生経済常任委員会



産婦健診とは、

▶ 産後のお母さんの
こころとからだの健康チェック
を行うための健診です

- ▶ 母親の身体的な経過の確認
- ▶ 母親の心理状態と子どもへの感情を確認し、虐待を防ぐ
- ▶ 子どもの発育状況を確認
- ▶ 必要に応じて、母子への支援へと繋げる



那覇市は 産婦健診の費用助成 をスタートします！

- ▶ 対象は4月1日以降の出産
- ▶ 1回あたり上限5,000円
- ▶ 健診は2回
(産後2週間頃と1ヵ月頃)

◆那覇市からのお知らせ◆

4月 から 産婦健診 の費用を助成します



対象 平成31年4月1日以降に出産された、
健診日時時点で、那覇市に住居票のある産婦さん
※那覇市から、産婦健診を実施していない市町村に転出された場合は、交付された
受診票を使用することができませんので、ご注意ください。
◆産婦健診の実施予定12市町村：那覇市、浦添市、沖縄市、うるま市、久米島町、本部町、
中城村、読谷郡村、東原村、南大東村、北大東村、伊平屋村

健診内容 産後のこころからだの健康チェック
問診・診察・血圧測定・体重測定・尿検査・赤ちゃんへの気持ち質問票
エッジパ(産後うつ病質問票)※必ず行っていただく必要があります
※出産予定日の産科医療機関(助産所)に産婦健診の実施について、ご確認ください。
※上記以外の検査・治療、赤ちゃんの健診は公費負担対象外です。

助成額 1回あたり上限5,000円 ※上限を超えた分は自己負担となります。

助成回数 2回(産後2週間頃と1ヵ月頃に各1回)

受診票 産婦健診を受けるには、受診票が必要です。

◆平成31年4月1日以降に妊娠届出をされる方は、母子健康手
帳(親子健康手帳)と一緒に、受診票を窓口で交付します。

◆平成31年3月31日までに妊娠届出がお済みの方は、那覇市保
健所の母子健康手帳窓口、または産科医療機関でお受け取りください。

※業先に、産婦健診の実施医療機関・助産所のリストがあります。詳しくは、那覇市
保健所ホームページをご覧ください。

※那覇市では、産婦さんと赤ちゃんの健康を守るため、産婦健診を受けられた医療機
関と連携しながら各種支援を行うことがあります。



※お問い合わせ先※
那覇市保健所 地域保健課
TEL 098-853-7962



産後うつ病

- ▶ 出産という大きな変化を経験した母親は、誰もが心身の不調をきたしやすく、これに加え、十分な育児支援が得られない場合は、育児負担の増加と睡眠不足等で心身の疲労が蓄積しやすく、さらに経済的困窮など強い不安が重なると、抑うつ状態に陥りやすい。



発生率

10%から15%

誰にでも
起こりえる病気

産後のこころとからだの健康チェック 1

▶ 育児支援チェックリスト

- ▶ 困った時に相談できる人が周りにいるか
- ▶ 経済的な不安はないか
- ▶ 赤ちゃんを叩きたくなることがあるか



<併読票紙>

育児支援チェックリスト

氏名: _____ 実施日 年 月 日 (産後 日目)

あなたへ適切な支援を行うために、あなたの気持ちや育児の状況について下記の質問に回答してください。あなたに当てはまる答えのほうに、○印して下さい。

1. 今回の産後中に、おなかの中の痛みや息苦しさの峰について、または、数度の嘔吐に医師から何か問題があると言われていましたか？
はい いいえ
2. これまでに産後や出産後1年間に赤ちゃんを育てたことがありましたか？
はい いいえ
3. 今までに心情的な、あるいは精神的な問題で、カウンセラーや精神科医、または心療内科医などに相談したことがありましたか？
はい いいえ
4. 困ったときに相談する人についてお尋ねします。
(①) ②はいつでもお助けすることができますか？
はい いいえ 夫がいない
③お母さんにはいつでもお助けすることができますか？
はい いいえ 実母がいない
④夫やお母さんの他に頼ることができる人がいますか？
はい いいえ
5. 生活が苦しかったり、経済的な不安がありましたか？
はい いいえ
6. 子育てをしていく上で、今の生活まいや環境に満足していますか？
はい いいえ
7. 今回の産後中に、産後鬱っぽい方がおじいさん、あなたや産後鬱っぽい方が悪い気分になったり、事故に巻き込まれたことがありましたか？
はい いいえ
8. 赤ちゃんが、なぜか泣いたり、泣いていないのかわからないことがありましたか？
はい いいえ
9. 赤ちゃんを叩きたくらいのことがありましたか？
はい いいえ

実施者名: _____
(※) 神戸大学附属医療センター 産科 産後ケア科 産後支援室

産後のこころとからだの健康チェック 2

▶ エジンバラ産後うつ病質問票

- ▶ 産後の気分について
- ▶ 不安や心配はあるか
- ▶ 眠れているか
- ▶ 自分自身を傷つける考えが浮かんだか



<併読票紙>

エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS)

氏名: _____ 実施日 年 月 日 (産後 日目)

産後気分についてお尋ねします。あなた自身も赤ちゃんも元気ですか。産後気分はあなたの気分をうつしてしまったり、今日だけでない、産後1週間以上あなたに悩ましていることに最も近い答えに○をつけて下さい。必ず10項目を回答して下さい。

1. 驚くことが増え、物事に気が引けるようになった。
 1 つも同様にできた。
 ほとんどできなかった。
 半分もできなかった。
 ほとんどできなかった。
 全くできなかった。
2. 物事に気が引けるようになった。
 1 つも同様にできた。
 ほとんどできなかった。
 半分もできなかった。
 ほとんどできなかった。
 全くできなかった。
3. 物事に気が引けるようになった。自分自身を責めるようになった。
 はい、とてもひどい時があった。
 はい、時々あった。
 はい、たまにだけあった。
 いいえ、まったくなかった。
4. 自分自身に気が引けるようになった。心配、心細い感じがした。
 はい、とてもひどい時があった。
 はい、時々あった。
 はい、たまにだけあった。
 いいえ、まったくなかった。
5. 自分自身に気が引けるようになった。泣き止まない。
 はい、とてもひどい時があった。
 はい、時々あった。
 はい、たまにだけあった。
 いいえ、まったくなかった。
6. 予ておぼろげに思っていたよりも悪くなった。
 はい、とてもひどい時があった。
 はい、時々あった。
 はい、たまにだけあった。
 いいえ、まったくなかった。
7. 不安や心配で、寝ることができなかった。
 はい、とてもひどい時があった。
 はい、時々あった。
 はい、たまにだけあった。
 いいえ、まったくなかった。
8. 眠れなくなった。寝ることに気が引けるようになった。
 はい、とてもひどい時があった。
 はい、時々あった。
 はい、たまにだけあった。
 いいえ、まったくなかった。
9. 不安や心配で、泣き止まない。
 はい、とてもひどい時があった。
 はい、時々あった。
 はい、たまにだけあった。
 いいえ、まったくなかった。
10. 自分自身を傷つけるような考えが浮かんだ。
 はい、とてもひどい時があった。
 はい、時々あった。
 はい、たまにだけあった。
 いいえ、まったくなかった。

実施者名: _____
(※) 神戸大学附属医療センター 産科 産後ケア科 産後支援室

